明治四十五年二月二十五日（日曜日）　第八百九十六號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙一枚金二錢▲一ケ月前金三十錢▲三ケ月前金九十錢▲六ケ月前金一圓八十錢▲郵稅一ケ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 五號活字十七字詰一行金二十錢▲特別廣告七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三五番
仁川支局 仁川宮町三丁目
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

人生の妙味茲に存す 政治趣味の鼓吹

人間の世の趣味は理想と現實の戰にあり、靈と肉、神と肉との爭にあり、如何にして現實を理想化し、現在の缺たるかを補ふにあり、現實は缺陷に充つるものなればなり、人間の理想は之れを矯めて少くも人間意識の跡を止めしむる也。ファウストが頻りに懷疑に促がされて毒杯を一下、自殺を圖りて併かも死せず、再び世に投じて斯の生を全ふせんとせるもの、理想と現實の爭に興味を感じたればなり、理想を現實に下し、現實を理想に近よらしめんとする努力に人生の興味を生じたればなり。吾人は吾人自身の上に於て既に此爭ひを感ずるにあらずや、肉と神これ也、身体と精神の爭これ也。肉の靈は頻りに墮落を敢へて衝迫りつゝあるもの也、靈は之に對して排斥の聲を擧げ、調節の力を表はすものなり、靈の聲は神の如けれども、肉の要求は全く之れに反するものなり、人間が肉と靈とによりて成り立てる以上は、此爭は永久に存續すべし、吾人の眼は天上に向へども、吾人の足は地上一歩も離るゝこと能はず、吾人の頭腦は天界神在す所に行けども、吾人の肉は汚穢に充てる此世を去る能はず、如何に理想を語るも、其要求は兎角之れと背馳せんとするにあらずや。

頃日、客あり現時に於ける政治界の腐敗を嘆じ、且つ年少者に政治思想を涵養せしむるは彼等をして腐敗の政界に近寄らしむるものなりと論ぜり。然り政治界は腐敗に充つれども、此腐敗をして腐敗たらしめず、俗惡の趣味に終らしめざる所に、政治家の手腕を見る、政治家は政界の靈なり神なり腦なり、衆愚は肉なり身体なり血なり、此肉の要求を理想に調和し、國民をして向ふ所、指さす所に進ましむるもの即ち政治家の任なり、唯政治家の中に理想に副はざるものありと雖も、此の如きは如何なる社會にも免る能はず。政界の擾々は時々腐敗せるが如きも、腐敗に終はらずして何日か反正の機會を作り、大局をして過まらざらしむる所に手腕を存す、此間の紛々を目して遂く腐敗せりと爲すは、言ふ者自からの偏狹を示すものにして、自からの不明を表白するに過ぎざる也。

吾人は、理想現在の衝突の間に人生の趣致を感ずるものなり、理想と現實、殊に其衝突の著しきは政界也、其相去るの甚だしきは政界なり、教育界の如きは對象を兒童に有するが故に積極的の障害を感ずること無し、消極的には理想に引上ぐる上の困難を有すれども積極的には之を妨げず、政治界は紛々擾々、あらゆる妨害を現實と理想の上に降り下すが故に、兩者の間隙は最も甚だし。甚だしき所に腐敗の多きを見れども、而かも此間隔あるがために、努力の眞の効果を認むるにあらずや。吾人は政治界の興味を以て國民必須の事實なりと斷ずると同時に、政治趣味は一層之を鼓吹するの極めて必要なるを主張す（エス、ケー生）

文苑

飛び〳〵日記

仁川 たび家丹葉投

△冴返る▽……（二）

○腰辨 腰辨の汁袴の裾に冴ね返る
○石工 丁々と石割る冴ね返る
○藝妓 冴返る手や絲みちの撥蛸の
○仲仕 車より辷る脚下先づ冴返る
○髮結 氣の張つた結髮に手の冴返るらん
○炭賣 俄然炭價昂騰も冴返へる朝
○花嫁 はにかむに綿帽子脫げば顏冴返る
○番頭 欠伸しつゝ火で顏洗ふ店頭冴返る
○夫婦 冴返る皿小鉢飛むだ喧嘩あと
○下婢 冴返る立ち小便すあと身震ひも
○俳優 引き締る舞臺科白さね返る夜や
○娼婦 喋々喃々四疊半裡何さね返る
○學生 素短か脛もあらわにさね返る
○患者 脈はくの革まる病者さね返る夜に
○閑居 嗤りつく老媼炬燵にさね返る
○盲人 ながいし行く夜按摩の唇さね返る
○我輩 火少なの爐や歌膝のさね返る

……千差萬別、婆娑ッ氣離れのせぬ大俗物、詮策すりやア數限りなき有象無象の探題ながら、茲いらでぶち撒いた世界的の人形箱、开が中より駄句り出した三十斗り、氷り勝なる筆先を唇でもごもごつ、天窓や耻をザッとかく喃、穴賢（ゝ）

次退藏居樂之先生雪曉詩　加藤游藻

雪、厭、山、川、下、界、明。豐、年、有、兆、意、殊、清。太、平、鼠、得、藏、書、館。食、底、睡、遊、了、一、生。

同和讀湖山枕山松塘遺稿又題柳北詩鈔詩

双、詩、讀、去、感、方、深。明、暗、即、知、既、往、吟。五、里、霧、中、生、活、路。因、君、高、論、啓、他、心。

外事一束

▲英國 炭鑛紛議毫も有望徵候を示さず石炭の價騰貴一方に賣買不可能と成る
▲米國 移民法修正案は愈十九日の上院本會議に上り外務委員等通過に努む
▲新任 墺國外相ベルヒトルド伯十九日新任宣誓を行ひポツダムに於いての日獨兩帝會見を基礎し兩國の親善を圖り三國同盟策を維持すと言明せり
▲在米 支那協會委員米大統領が支那新共和國承認を速にせんこと運動すと
▲世凱 十七日を以て愈新擧臨時大統領袁世凱と稱し先太陽曆採用を布告す
▲波斯 駐劄英露公使同國政府に兩國の對波斯政策宣言の同文通牒を送れり

梁川庄八

小金井蘆洲演

第百十一回

庄『御丁寧なる御言葉、拙者の身は如何やうに相成り候とも、豫て覺悟は定めて居るに依て猥りに刑場に踏込んで成敗を致しましたる其罪は慎て成敗を仰ぐ心得にござる、假令拙者は頭を刎ねらるゝとも此雜子屋の倅の一命を救ひ、併せて斯る殘忍非道なる石子詰の刑を向後廢せらるゝに於ては滿足仕る、次第でござる、尤尋の旅宿は小刀屋善兵衛方、事落着に相成るまでは幾日なりとも同所に逗留して、御沙汰を相待つでござろう、して左樣御取計に相成るからは速に此兵吉なるものを御引渡し申さん』とて雜子屋の倅兵吉を後藤奉行に相渡した、ソコデ奈良奉行は庄入の止宿して居る旅人宿の主人を呼出して、内『此仙臺の浪人梁川庄八なるものを其方へ屹と預くるぞ』と仰渡されたものでありますから、小刀屋の主人は迷惑な事とは思つたが、奉行の仰に辭むこともならず『委細謹んで承知致しました』と請をなし、手代同道で梁川庄入を伴ふて引取りました、既に奉行が乗込んで來て、改めて關東へ問合せの上何分の處刑を致すと云事に相成つたのですから、興福寺の役僧も止を得ず寺を指して引上る、又奈良奉行は刑場の繩張を取り捨て、兵吉を召連れて役邸へ引擧て參りまする、其後姿を見送つて見物一同は大に悅び、鯨波の聲を擧げて喜び、面々已が家へ引擧げました、雜子屋兵助一家の者は悅び極つて、梁川の姿を伏し拜み、嬉淚に搔くれて後は如何に成行くとも心付かず、宛然盲龜の浮木を得たる如く、手の舞ひ足の踏む處を忘れて勇んで我家へ引取りました、扨後藤內記は役宅へ引上ると、直ぐに關東へ右の次第を上申に及ぶ、何分の御指令を仰ぐと云事になりました、然るに將軍家に於ては興福寺は勅願所、殊に奈良の町は春日明神の御神領であり、右石子詰の刑は一種特別の罪科であるに依て、一存を以て之れを差止める譯にも行かぬと云ふので、帝に奏聞を遂げて勅裁を仰ぐに如かずとの評定の結果、直樣京都所司代板倉伊賀守に御達に相成り、板倉伊賀守より右の次第を、夫れ〳〵順序を經て議奏所へ申立て、傳奏議奏評議上此事を叡聞に達しました、當時の天皇は後水尾天皇、豫て聰明叡智の大君にてましますに依り、右の次第を聞召されて鹿殺しの罪人は奉行に於て、相當の輕罪に處するは苦しうないが、石子詰の刑は甚だ苛酷に過ぐるを以て、此刑制は勿論決して死罪に行ふ勿れとの難有き勅諚、そこで京都より興福寺へ右の次第をた達しに相成り、又板倉伊賀守よりは、關東へ勅諚の趣を上申し改めて奈良奉行後藤內記へ御傳達になつたのでございますから、後藤內記も大きに喜び、早速興福寺へ勅諚の次第を達しまするとた、此方へも豫て達しが有つたと云ふ返答で、以來奈良町に於ける罪人は申すに及ばず、鹿殺の罪人も凡て奈良の町奉行に於て之を成敗し、興福寺よりは一切指圖ケ間敷事を申出まじと云ふ落着に相成りました、そこで奈良町奉行は雜子屋兵助を呼出して 奉『畏れ多くも此度叡聞に達し奉りし處、斯く〳〵の御勅諚、就ては叡旨を奉戴して、十五歳未滿の少年殊に過つて殺せし事故、其罪を問はず倅を其方に引渡すに依り、以來は一層心付けて過ちなきように致せ』との有がたき御申渡、又梁川庄八も奉行より相應の御挨拶あつて、刑場へ無斷にて飛込みし罪は一切た構ひなしと云ふことに相成り、其上關東より御沙汰の有ればとて 奉『向後過つて鹿を殺した時は、其鹿本人に下渡す其代りとして新に一頭買入れて償ふこと、又故意を持て殺した時は、相當の刑罪に行ふと云ふ掟を定められたので、奈良の町は全く夜が明けたようになつて一同是れ皆梁川庄八と後藤町奉行の御蔭なりと打喜ばぬものは一人もございませぬ、天網恢々疎にして洩さずで、彼の鍋屋の清兵衛は雜子屋の倅を、石子詰の刑に行はせて、多年の怨みを霽さうと巧みましたが、天道惡に與みせず、端なく庄八の救ふところとなつて、爾來石子詰の刑さへ廢されましたが、其後町內の者は鍋屋を憎む事一方ならず、遂には誰云ふとなく雜子屋の息子の打つた鹿は裏山へ逃げて行たのに、彼の鍋屋は豫て雜子屋に怨みのある所から、自分の軒下に倒れて居つた鹿を、兵吉が殺したやうに取繕ひ訴へたのだと云ふ評判がパッと立ちました。

東京電報

▲穀稅撤廢請願　帝國議會に提出せられたる穀物移入稅撤廢請願の件は來る二十六日の委員會に附議する事に決せり

▲昌圖地方不穩　滿洲昌圖附近形勢不穩となり我守備隊は之れが警戒に力む

▲政府の提出案　政府は四十三年度に屬せる事後承諾案四ヶ條を衆議院に提出せり

▲滿洲支那兵引揚開始　滿洲に於ける中立地帶所在の支那兵は奉天芝罘等にそれ〳〵引上を開始せり

▲南淸警備軍艦　帝國軍艦淀は千早と交替して南淸の警備を命ぜられたり

▲西大將危篤に迫る　西大將は病氣愈々重態に陷り回復の見込なし

北京特電

▲暗殺陰謀露現　多數の君主黨奉天より入込み袁世凱を暗殺せんと計劃中なること發覺し三名逮捕され直ちに死刑の宣告を受けたり

▲借欵問題と運動　中華民國の借欵に就て米獨シンジケート亂起運動を試みつゝあるも最後の勝利は英國に歸すべしと觀測さる

▲袁の南下準備　袁世凱は南京政府の使節を接見したる後南京に赴くべしとて特に濵船を用意し居れり然れども袁の南下は頗る疑問なり

▲代表者會議開催準備　郵傳部の阮忠樞は天津に赴き南北代表者會議開催の準備をなしつゝあり

雜報

●裁判制度一部改正　朝鮮總督府は裁判制度の一部を改正するの必要を認め既に其の草案成りたるを以て近日公布を見來年度即ち四月一日より實施せらるゝ豫定なるが右改正の要旨は大要左の如し

舊韓國の司法制度は大体に於て內地の制度に模倣し大審院を以て最高裁判所となし其の下に控訴院地方裁判所及區裁判所を置き區裁判所の第一審裁判に對して地方裁判所をして第二審裁判を爲さしめ地方裁判所の第一審裁判に對して控訴院をして第二審裁判を爲さしめたり明治四十二年韓國政府より司法事務を委託するに至り大審院を改めて高等法院と爲し統監府の所屬と爲したれども單に名稱の變更に過ぎず明治四十三年韓國併合の結果朝鮮總督府裁判所と爲すに及びても仍其の制度を襲用し裁判所の審級權限等凡て從前と異なることなし前述の制度に於ては區裁判所地方裁判所は共に第一審裁判所たるに拘らず其の種類名稱を異にし又地方裁判所は一面第一審裁判所にして他の一面は第二審裁判所なるにより第二審裁判所又控訴院と地方裁判所との二種あり此の如く裁判所に四箇の種類ありて其の權限相錯綜するのみならず區裁判所の權限に屬する輕微の事件を除くの外第一審に於ても總て合議裁判の手續を用ゆる爲め其の處理迅速なることを得ず訴訟費用又た隨て增加するは數の免れざる處なり百般の事簡易を以て目的と爲さゞるべからざる朝鮮現下の事情に於ては此の制度は鄭重と云ふよりも寧ろ繁雜に失するの嫌あり故に今次の改正に於ては區裁判所を廢して裁判所の種類を減じ第一審裁判は總て地方法院即ち從前の地方裁判所又は其の支廳をして管轄せしめ第二審裁判は凡て覆審法院即ち從前の控訴院に管轄せしめ第一審裁判に於ては事務取扱の簡捷を期する爲め單獨判事をして裁判せしむるを以て原則となし特に重要なる事件即ち民事に在りては訴訟物の價格千圓を超過する事件、人事訴訟事件、破產事件、刑事に在りては刑法第七十四條第七十六條の犯罪事件、本刑死刑、無期又は短期一年以上の懲役若くは禁錮に該る犯罪事件及其の共犯事件に限り合議裁判の手續を用ゆる事と爲せり要之裁判所令の改正は第一審第二審の裁判所を統一して其の權限を明確にし一般輕易の事件に付ては可及的簡便の審判を爲して事件澁滯の弊なからしむると同時に權利の保護上特に愼重の取扱を要する事件に就ては合議の手續を遺して審理疎漏の憾なからしめ輕忽に失せず繁雜に拘らず司法處分をして能く實際に適應するの效果を收めしめんと欲するに外ならず云々

●刑事令の內容　四月一日より實施さるべき朝鮮總督府刑事令は全文四十七箇條より成り其內容左の如し

刑事に關し此刑事令其他の法令に特別の規定あるものを除くの外左の法令に依るべし

一刑法、二刑法施行法、三爆發物取締罰則、四明治二十二年法律第三十四號、五通貨及證券模造取締規則、六明治三十八年法律第六十六號、七印紙犯罪處罰法、八明治二十三年法律第百一號、九海底電線保護萬國聯合條約罰則、十刑事訴訟法、十一普通治罪法陸軍治罪法海軍治罪法交渉の件處分法、十二外國裁判所の囑託に因る共助法

▲權限●　前項に揭げたる法律中大審院の職務は高等法院、大審院長の職務は高等法院長、檢事總長の職務は高等法院檢事長、檢事長の職務は覆審法院檢事長、地方裁判所檢事及區裁判所檢事の職務は地方法院檢事之れを行ふ王族は刑事に關する法規の適用に付之れを皇族に準ず

▲本令發布に伴ひ廢止さるべき法令並に刑名の變更

一、刑法大全は廢止

一、舊韓國法規の刑

舊韓國法規の刑	改正すべき刑
死刑	死刑
終身役刑	無期懲役
終身流刑	無期禁錮
十五年以下の役刑	有期懲役
十五年以下の流刑又は禁獄	有期禁錮
罰金	罰金
拘留	拘留
科料	科料
沒入	沒收
笞刑	二十日以下の拘留又は科料

●議會と朝鮮問題　二十三日午後十一時總督府公電によれば二十三日衆議院決算分科會に於て朝鮮鐵道及森林の質問あり統監府の決算は火曜日二分科に於て審査の筈なり

●外人宣教師及信徒　其筋に於て最近調査に係る朝鮮全道を通じたる外國宣教師總員二百七十四名にして內英人六十二名米人百五十六名佛人四十一名其他十名なるが彼等の經營せる敎會堂七百三十講議所二百二十二其他集合所九百六十六、所にして信徒は內地人三百三十七人鮮人十九萬四千八百八十三人其他七十七人合せて十九萬五千百八十七人なりと

●民事令の內容　民事令も刑事令と同時に發布さるべく右實施に伴ふ準據法及廢止さるべき法令左の如し

民事に關する事項は本令各項の外左の法律に依る

一民法、二明治三十二年法律第五十號、三三十七年法律第十七號、四三十三年法律第四十號、五三十三年法律第五十一號、六三十三年法律第十三號、七民法施行法、八商法、九三十三年法律第十七號、十商法施行法、十一三十三年法律第卅二號、十二商法施行條令、十三民事訴訟法、十四外國裁判所の囑託による共助法、十五三十二年法律第五十號、十六家資分散法、十七人事訴訟手續法、十八訴訟事件手續法、十九民事訴訟費用法、二十執達吏手數料規則、二十一供事法

▲廢止さるべき諸法令●　一統監府裁判所司法事務取扱令、二明治四十一年勅令第二百三十八號、三手形條令、四土地建物典當執行規則、五明治四十年統監府令第三號、六民事訴訟規則、七民事訴訟期限規則、八民事訴訟費用規則、九隆熙三年法律第十五號、十訴訟事件手續規則等なり

●府廳前の道路擴張期　既報本町一丁目（京城府廳前）道路擴張問題は爾來久しく當局と土地家屋所有者との間に於て賣買の交渉を重ねつゝありしが右所有者の態度極めて強硬なりしため當局に於ては已むなく土地收用令を適用し過日漸く解決を告げたるが之れが家屋取拂期は來る二十六日の豫定なるを以て遲くも三月中旬には工事に着手すべしといふ尙ほ總督邸入口の日の出町より壽町にいたる取擴工事は三月五日を以て買收濟みとなるべき豫定なるを以て之れ又三月下旬頃には起工することゝなるべしと

●永住者の總話會組織　當地の山口太兵衛森勝次の兩氏外數名のものは豫て京仁に於て二十年以上居住するもののみを以て總話會を組織せんの計劃あり爾來調査の結果今回愈々組織することに內定し不日仁川の淸水岩吉氏等と打合せをなし其の上にて成立の豫定なるが今同會の趣意に就き聞くところに依れば會員の資格は叙上の如く滿二十年以上居住のものとなし而して是等の會員は往時を追懷して當年の狀勢を偲び一面現代の時勢に貢獻せんために會員は一ヶ年定規の會費を納め尙會員中より一ヶ年一回內地視察團を組織して重もに母國の實業を視察せしむるにある由なるが二十ヶ年以上の居住者は京城には約百名仁川には約四十名ありといふ

●關門の朝鮮貿易　二月中旬に於ける門司下關兩港の朝鮮貿易額左の如し

▲門司港

	本年二月中旬	昨年同上	累計
移出品	七二、一九九	八七、六五一	四四四、二五四
移入品	一三、二四五	八、三二五	一〇三、五一一
合計	八四、四四四	九五、八六四	五〇七、七七六
移出超過	五七、九五四	七九、四二八	三〇〇、七三七
△移出重要品			
精糖	一三、九六	五、八〇〇	三一、五四三
淸酒	……	二、四〇七	二、九九九
綿絲	八、八〇〇	二、三六八	二一、二〇五
綿織布	一、八二	二、四八八	四〇、六一七
セメント	九、六五五	二〇、七〇二	二九、四〇〇
△移入重要品			
大豆	三、五七三	六、六六四	五七、二八五
黑鉛	……	三	……
干鰯	一〇二	……	六、二八五

▲下關港

	本年二月中旬	昨年同上	累計
移出品	一九七、九四四	二四一、〇九八	九〇八、四一四
移入品	七一、五五六	三七、一二〇	三〇三、三三〇
合計	二六九、五〇〇	二七八、二一八	一、二一一、七四四
移出超過	一二六、三八八	二〇三、九八八	六〇五、〇八四
△移出重要品			
精糖	二〇、七三八	九、二一〇	八二、三三三
淸酒	一〇、三三一	二〇、九三九	二九、八〇九
綿絲	二〇、二二二	二〇、五九六	八二、九〇二
綿織布	三六、八六〇	四六、一一〇	一三七、六一七
セメント	一、五〇〇	……	三、九九〇
△移入重要品			
大豆	三〇、二二五	二二、九七九	一八一、一四八
牛皮	一六四	三、六八一	……
黑鉛	一六六	七〇七	二、〇七六
干鰯	四、九四六	四二五	三、八〇五

●順安金鑛有望　平安南道に於ける幾多の金鑛中目下最も有望なる金鑛として注目せられ居るは順安郡石岩里に於ける淺野總一郞氏經營に係る順安金鑛にして同鑛は事業開始以來鑛脈益々好望となり其採掘額も逐次增加の有樣にて昨年中平壤市場に出廻りたる金塊の三分の一强は即ち順安金鑛より採掘せられたるものにして殊に昨冬の如きは量約十七匁位のもの續々採掘せらるゝと云ふ狀況なるを以て自然同地方も發展の趨勢を示し目下內地人六十餘名及び鮮人々夫約二千名を算するに至り其結果淺野氏に於ても同地の發展上將來適當なる交通機關の設備を爲すべく目下計畫中なりといふ

●穀稅撤廢運動員報告　米穀移入稅撤廢運動につき昨今東上中なる高洲群山商業會議所書記長は此の程漸く運動を了り二十四日歸鮮の途に就きたるが今其の報告を聞くに同問題は二十六日開會の衆議院委員會に提出さるべく而して今日のところにては其の形勢頗る良好なりといふ

●仁川文庫の發展　同文庫は仁川基督敎靑年會事業の一部として昨年四月本町三丁目同會館內に設置せられ當時は有志の寄贈に係る百有餘冊の書籍に過ぎざりしが同年五月仁川文庫補助演藝會を催し其收益金四百余圓を以て爾來續々有益なる書籍新聞雜誌類を購入し一般公衆の縱覽に供し來りたるが今や圖書冊數五百有餘に達し一方には購入資金も最早餘す所なきに至りたるが故此に一先圖書の大整理を行ひ不日圖書目錄並に閱覽規程を發行して會員並に有志者に配附し特に會員に限り自宅閱覽を許可することゝなりたるが故會員は勿論其家族に至る迄多大の便益を享有することゝなれり

●民團の委員會　京城民會にては稅制問題に付二十四日午後一時より民團樓上に於て委員會を開けり

●半島鑛業振興上の意見（十七）

▲鑛業家岡宗治氏談　熟ら〳〵朝鮮に於ける鑛業の大勢を鑑みるに從來朝鮮人の經營に係る鑛業は頗る幼稚にて其の規模設備の如きも殆んど一として見るべきものなし偶々多額の產出ありと稱する現場にいたりて視察せんか其の不規律不完全なることは實に驚くに堪へたるものあり要するに彼等の鑛業經營は主に砂金採收にして又鑛脈より採掘する產金は鑛石の豐富なるものゝ外一切手を下さゝるが是れ畢竟製錬の方法宜しきを得ざると採掘法の斬慣に依れるとに外ならざるなり而して之れが採掘法は井戶式採掘なるを以て深く掘り下ぐるに從ひ湧水又は大氣の流通を妨げられ已むなく採掘を中止するにいたれるなり而已ならず一般朝鮮人の常性として秩序的作業をなすことの不可能なる爲め彼等は前述の如く唯だ鑛脈中の豐富なる部分のみを採掘するより勢ひ亂掘に陷るを免れざりき然るに去る三十九年九月舊韓國政府は新たに鑛業條令を發布し大に鑛業の刷新を期し同時に之れが經營者の取締をなすにいたるや內外人（主に內地人朝鮮人）は翕然として之れが採掘權の出願をなし亦鑛區を撰定する遑だになかりき而して爾來相當之れが採掘權の許可を得たるものありしも多くは自ら經營するに非ずして單に其の權利を轉賣し以て一攫千金の巨利を博せんとするに外ならざりしなりされど近頃にいたりては是等の空權家は種々の事情に驅られて權利の取消處分を受け又は自ら廢業する等自然淘汰の下に稍々面目を一新し來りたるも翻つて實際の鑛業家の多くは資本に乏しく爲めに將來到底之れが事業を完成するの望みあるもの少なきは遺憾に堪へざるところなり加之世間多くは鑛業の如何に有望にして確實なるにも拘はらず進んで斯業の經營に資本を放下するもの少なく寧ろ之れを危險視して顧みざるの風あるは實に慨嘆に堪へざるところなり、故を以て眞に鑛業に智識あり經驗あるものにして或る種の鑛山を發見し之れが經營に着手せんとするも悲しむべきことには資本乏しきが爲め遂に如何ともなす能はず休業出資の餘波は益々不況を來たし遂に窮境に沈淪するにいたるは實に同情に堪へざるところなり、而も朝鮮の地たる由來各種の鑛物に富み相當資本と其の方法宜しきを得ば事業の成効一點疑ひなきに於てをや、要するに今是等資本に乏しき鑛業家の便を謀り兼ねて事業の開發を幇助するの策としては先づ朝鮮樞要の地に中央製煉場なるものを起し各地方に於て小鑛業家の採掘したる鑛石（金、銀、銅、鉛其の他製煉の易からざる鑛物）を試驗分析の結果に則りて之れを買收せば小鑛業家の利するところ蓋し鮮少に非ざるべく又自ら鑛業の發展上多大の裨益を來すべきや言ふ迄もなかるべし而して更に近時內地の鑛業家が朝鮮の鑛業の前途多望なるを知り近時之れが採掘の出願をなすもの續々として現はれ來りたるは國家のため賀すべき現象なりとす、述べて愛にいたる敢て貴社の所謂鑛業振興策の意見としては衷心怛怩の念に堪へざるものあるも請はるゝがまゝに斯く卑見を吐露せしのみ云々

●元軍司令官送別會　元朝鮮駐劄軍司令官上田大將の送別宴は二十四日午後六時半より花月に於て開催文武官吏百二十餘名及重なる民間代表者參會す

●石油値上協定　一月以來京城に於て既に五錢宛四回總計廿錢の値上げを行ひ一函二圓九十五錢を唱へたるライジングサン石油會社の旗印石油は廿三日夜本社よりの來電に依り更に五錢の値上げを行ひたるが是れと同時にスタンダード石油會社の勝利票上松票共に値上げを行ひ勝利は一箱三圓十一錢上松票は同三圓四十一錢を唱ふるに至り當地石油界は今春に入り暴騰を來したるの觀あるが右に就き當業者等の語る所を聞くに元來京城に於ける石油はライジングサン及びスタンダード兩會社にて各其の販路の擴張に努めたる結果破格の安値を以て賣出し居るものにて從來の値段を以てしては到底利益を見ること困難なる事情あり旁々兩會社の京城地方に於ける販路も略々定りたる狀態にある今日徒らなる競爭を避くるを以て得策とし這般兩社協定の上相當價格に値上げを行ひたるものにて其のライジングサン會社が前後五回に渡り五錢宛の値上げをなしたるは只市內小賣業者等に對する關係上一時に廿五錢の暴騰をなすの不便なるを以て順次に引上げをなしたるなりと

●實業功勞者調査其後　其筋の依囑に係る京城實業家功勞者調査は廿二日開會の商業會議所役員會に於て審議したるが右は信用の程度及び功勞の程度等に就て之れが調査の按排を要するものあり依つて右に關し一應當局の方針を質すの必要あるより深水副會頭山口書記長は二十三日檜垣道長官を訪問して之れが方針を聽取せし筈なり

●東拓第三回移民地　東拓會社第三回移民募集は移住地の選定未だ完了せざるため發表するにいたらず之れが發表は何れ來月初旬になるべきが要するに右第三回の移住地は現在の出張所及び派出所管內の外北鮮方面にも移住せしむべく而して之れが戶數は約五六十戶なりといふ尙右北鮮地方の移住地は昨年八月頃より社員を派し土地の買收に從事せしめ昨今略ぼ買收濟みとなりたる由なるが內地農民の間には却つて同地方を希望しつゝあるものありといふ

●滿洲と硝子業　滿洲に於ける硝子製造業は其原料の豐富なる丈け近く滿鐵にても之を創む可く傳へられ都督府も將來有望の一事業として州內に於ける製造業者を保護しつゝあるが其現況を見るに未だ微々たるものにして製造所數も大連に一、奉天に三吉林に二、長春に二、哈爾賓に四ヶ所あるのみにて全體の生產額一年二十萬餘に過ぎず其製造品の如き未だ滿洲に存在する原料を用ふるに至らず多くは破損硝子を集めて再製造をなす廢物利用に止り偶々原料を用ふるものは之を內地三河國に仰ぎて支那人の燈火用カンテラ製造を主とし年間五百萬個位を製造し夏期に於ては蠅取を製造するも之等は天候に支配さるゝことも多く唯大連に在りては藥瓶の需要かなり挑々敷由なるも滿洲全體の硝子の製造は先づカンテラ專業と云つて可なり都督府が大連玉置製造所に年五百圓の職工奬勵費を補助して硝子業を盛ならしめんとするも其奏效に至る迄は前途遼遠なりと云ふ可し

●佐々木代議士の入京　昨年より北淸地方視察中なりし國民黨代議士佐々木代議士は歸京の途次二十三日夜十時四十分南大門驛着列車にて入京浦尾旅館に投宿せり

●佐々木代議士出發期　入京中の佐々木代議士は來る二十七八日頃當地發歸京の筈なり

●古城民長と送別會　古城京城民團長は二十四日午後六時花月樓に於て開會さるゝ上田大將の送別會に民團側を代表して出席したりと

●京城辯護士會例會　京城辯護士會にては二十四日午後六時より京城商業會議所に於て例會を開き種々協議するところありたりと

●藥劑士組合例會　京城藥劑士組合にては二十四日午後六時より京城商業會議所に於て例會を開きたりといふ

●京城府部面長會議　京城府廳所轄五部八面の部長面長は二十四日午後一時同府廳に集合し勸業及敎育につき協議し府尹代理の訓示あり四時散會せり

●交代憲兵到着期　憲兵下士以下六十九名は交代の爲め來月二日宇品出帆四日釜山着同地より各其任地に配布さるべしと云ふ

公人私人

▲有本源次郞（辯護士）二十三日鎭南浦へ
▲上泉德彌（海軍少將）二十三日天眞樓
▲三增粂吉（馬山府尹）二十三日巴城館
▲原田金之祐（郵船會社重役）同
▲佐々木代議士（國民黨所屬）同浦尾へ
▲關二等主計（京城憲兵隊附）二十四日着任

▼茶袋▼

行政整理に伴ふて、各官廳に於ける繁文褥禮の弊を矯めることの必要は言はずもがな此外マダ〳〵廢改を要するものがある▲政府の職員錄を通覽すると、兼官を有する役人が馬鹿に多い▲明治の前半に在つては學問が今日の如に行渡つてをらぬから、一人で二職若くは三職を兼ねるのも、蓋し已むを得なかつたであらう、然るに人材饒多の今日ではヅウ一人で二つも三つも事務を兼掌さする必要はない▲何故、今日までも兼任者が多いのかと云へば、それは俸給の流用をして經費の不平均若くは經費に餘裕あるを他に示さぬ方寸から割出されたものである▲それから年末に官吏にくれる慰勞金を平均にすることが大必要である▲年末慰勞は其名稱の示す如く、勤勞の如何に因て給與金額を定むることが當然である▲然るに今日の給與金額の標準は高級のものが無暗に多く貰つて下級の朝から晩迄居殘つて働いた者には甚だ手薄いものである、這麼な不公平なことがあらうか、殊に特別會計を有する官廳にあつて此弊が最も甚だしい樣に見受けらる▲滯納稅額が多いので京城民團の理事者は辨明をしてをるが、其一つ前年度の決算を示されては如何か、其に徵收不能で民團の損失に歸した金額が出てさへをらねば、民團徵稅の好成績を云爲して可なり。

浪花樓主の無情

▽僞籍を餌に脅迫

去る二十一日午後一時頃中の新地浪花樓主松本あいが北部署に呼出され居たるを見し三面子は仔細あらんと探り見しに右は四十三年十二月中鎭て懇親を結び居る愛媛縣宇和郡金清村？横飛寺住職某の娘たきよなる者に酌婦雇入の事を頼み同人共々同人の郷里に立ち越ね甘い言の八百を列べて先づ同人の父なる坊主を欺し込み其手にて同村の高橋ため(四八)なる寡婦の娘二人を毎月各七八圓宛支給する約束にて酌婦に抱へ入れたるが長女のなつと云ふは當時十九歳なりしかば年齢に不足なきも二女ひさをと云ふは實際數へ年の十七作らいも田舎者の届出を怠ること六年なりしかば戸籍面上は未だ十二の小供なるよりたきよは母親のためをして戸籍吏を瞞着せしめ原本に相違せる謄本を作成して其月の十二日に姉妹を引き連れ京城へ向けて出立せしがため又十日斗り遅れて渡鮮したるが此時は既に姉妹の者は處女にては無くしてひさをは着京の當夜より客に侍らし姉のなつも其翌晩より客に侍らしたるなりきが越ねて四十四年一月あいは僞籍一件を以てためを脅迫し姉のなつ及びひさをに娼妓稼業を成さしむることを納得させ姉のなつを四ケ年前借金二百圓の契約にて百圓を手渡し殘金一百圓は旅費其他立替金に差引きたるが妹のひさをは年齢に不足ありて其四月に入らざれば鑑札を受け難きもなつの受けたる鑑札にて娼妓は繼續させ居たるが妹の美人なるに引換へて姉のなつが無器量にしてれ茶挽勝ちなるに愛想を盡かしたる樓主は又々僞籍一件にてためを脅迫し四月に入るや姉の契約を此に仕替へてなつを放逐したるも二人が四ヶ月間の稼高を計算せず途方に暮れたる母娘の者は左る人の周旋にて龍山漢江通四丁目江口魚商方へ母は子守になつは下女奉公を爲しつゝ度々あいに對し精算を迫るも應ぜざるに堪忍袋の緒を切り北部警察署に訴へ出でたるより諸こそ當日喚問を受けたるなるが元來斯る事には馴れたるあいは罪を當時の周旋人なるたきよに嫁し其請●に應ずる氣色も無きより警察署にても其上は如何ともする由なしとの事にためは正式裁判を仰ぐ事に決心せしより一件書類を檢事局に送られしとかにて現に娘のひさをは源氏名を梅子と呼ばれて格子に顔を曝し居るなりとぞ

模範的大停電

▽迷惑させられた市民

チョイ〳〵立往生するを以て有名なる京城電車は二十四日午後十二時半より二時半に至る模範的大停電を試み以て市民の度胸試しを實行したり比較的生存競爭の劇甚ならざる京城なれば市民は左程迷惑を感せざるべしと云ふは莫大なる手當宏大なる邸宅を頂戴せらるゝ總督府や東拓や鮮銀やの御役人方の事にして平民就中我儘な官公吏の家庭を相手の商賣人の生存競爭自然淘汰は彼方方の意想外なり然れば實際此の嬉しからぬ模範的大停電なぞは市民の咽喉を締めると云ふもの少々お考へ下さつて日韓瓦斯電氣會社でも少し良い石炭を燃しては如うか、若し電力不足ならば電力を充實する如く設備したら宜しかるべきことを警告す

萬歳と其腹の將來

▽縮研究の餘地あり

皆さん御存じの仁川淺岡樓に萬歳と云ふ才色兼藝妓ありと申上げても御合點が參らぬも無理ならず元來餘り賣れて居る方でない此妓元たぼこと申して居つたと迄申上げてもお分りにならんとはハテ困つたエート夫れでは目玉と申しましよう夫れでも不明んとあつては扨困つた、アッ左様〳〵ソレ彼の此頃肩で呼吸を刻んで居るぽてれん藝妓でヤレ〳〵漸と御合點が參つたか、其様に皆様のお眼にも止まる萬歳のぽてれん腹既ち五ッ月の岩田帶赤の飯に魚添ねて祝ふのが本來ながら藝妓のぽてれんは小三金五郎の昔から餘り嬉しい香ばしいものでないとやらで此の妓も御多分に洩す名の萬歳に因んで膨るゝ腹を小皷のポンラ芽出度やな〳〵ン〳〵と叩いて居られる筈だつたのだ初めの間は、然るに此の筈忽ち賜の〳〵ズ位に変つた次第と申すは斯うでムる恵比須三郎が麥飯餌に鯛釣つたャーポャアポン〳〵扨も此腹の中の孩兒がた父さんは仁川新町邊の造酒屋の大塚某血氣盛んの好男子抑も馴染の初めと申せば仁川俱樂部の宴會の折萬歳の方から其男振りに打込んでゆるな素振りを朋輩に揶揄れて嬉しがつてるのを見た大塚さんも憎からず思ひ初めては話も早くイエスオーライ、サンキュー、ベルモット、ビールにブランデー、ウヰスキーを一緒にして飲んだ程に夢中になつた萬歳、此丈は外すなと堅く申しつけられた枕を外して終つたが後悔仕様ともせず益々嬉しがつて居るに大塚も寧ろ心から可愛くなり一月中大金を懐中して大分の別府温泉へ出養生と洒落たのを當地の誰彼が野暮な保護願とやら云ふものを差出したので土地のお役所で説諭を食つて兩人手に手を取つて戻る筈の所を如うした都合か去月末萬歳一人丈氣の脱けた人魂の様に膨れた腹を引つ抱へてフラリと歸つて來たが直ぐ跡から歸る筈の大塚さんは今以て歸つて來ず新町の家は店を閉めてあると云ふ始末に萬歳大に心配を初め座敷へ出ても夫れ斗りが氣に成つて肩で呼吸をックリ〳〵獨言ちて曰く『彼の時ア、迄仕なかつたら』と他人には通せぬ事を言つてはれ腹を睨めて欝ぎ込んで居るとは氣の毒でも何でも無い偶に曰『自業自得』喝

總督府小使の奇禍

▽自轉車乘は注意

二十一日午後四時頃西小門通總督府官舎居住總督府小使岡田政太郎(二九)が總督府より公文書送達の爲め自轉車にて龍山軍司令部に赴かんとする途中南山町四丁目の坂路より左に折れ京城ホテル前に曲らんとする刹那誤まつて右側の柵に突き當りたるハズミを喰つて柵を乘り越ね高さ二間餘の處より憲兵官舎敷地の石上に墜落し前額より鼻梁に長さ二寸深さ三分の挫傷及び前額より左頬全部に擦過傷を負ひたる騒ぎに警官出張本町四丁目贊化病院に收容治療を加へ居れるが全治までには二週餘を要すべしと

奔馬人を傷く

▽塵芥運搬車の馬

二十一日午後四時頃新龍山一丁目番戸不詳中屋紋太郎方鑛力職中屋春語(三五)が青坡町より古市町新舊龍山電車分岐點に出でんとガード下に來たる時後方より何物にか驚きけん漢城衛生會塵芥運搬車の馬が荒れ出し疾走し來たりて中尾を馬蹄に掛けたる上轢き倒したれば中尾は頭部に挫傷を受け左頬及び口より出血夥だしく其の儘人事不省に陷りたるを警官出張被害者を旭町安東病院に擔ぎ込み應急手當を施こしたるが生命には別條なきも全治までには二週間を要すとのこと該治療費及び休業中の手當を漢城衛生會より支出せしむることゝして事濟

●日本生命と配當　日本生命保險株式會社にては十八日株式總會を開き昨年度利益金二百五十九萬餘圓の内株主に對し一割五分の配當案を可決せり同社昨年中營業成績は新契約高二千二十萬餘圓に達し解約死亡滿期等の消滅契約を差引くも尚一千二百二萬餘圓の純增加にして年末現在契約高は九千五百九萬餘圓に上りたれば其の一億圓に達するは今後三四ヶ月を出でざるべしと

●活用法律大鑑　東京神田表猿樂町修學堂書店發行の本書は複雜なる社會に吾人が日常遭遇すべき事柄に就き一々法文を引證し實例を掲げて詳密なる解釋を施せり法學研究者は師に就き親しく六法講義を聞くに等しかるべし價一圓八十錢

●お尻合計六十遍　京城中部廊洞二十一統八戸車輓夫尹興錄(三二)及び統戸不明人夫鄭學俊(三二)は京城中部漢洞六十統七戸趙興白方に於て二月廿三日午後九時頃金錢を賭け勝負中北部警察署李春植巡査補に發見せられ引致の上笞三十に處せらる

●洋服泥棒捉まる　京畿道嶠桐郡北面串里八統七戸高元渉(四〇)は本月十五日舊龍山元町三丁目二十五番戸古物商菊池胞吉方店頭に吊しありたる洋服一着を窃取逃走し居たるが見付られ龍山署に引致せられ二十四日檢事局へ送らる

●此は合計百二十　二月廿三日午後十一時頃京城南部黄井洞七統十一戸李敬浩(三二)外三名は自宅に於て賭博の眞最中東大門分署の巡査に踏み込まれ引致各笞三十に處す

●盗伐　京城崇信面樓里十統二戸金元春(三二)外四名は二月廿三日農商工部保管山林の松を盗伐したる事を東大門分署に發見せられ檢事局に送致す

●十圓紙幣拾得　仁川宮町一丁目西堀千三は廿三日午後八時頃仲町二丁目にて十圓紙幣一枚拾得し届出づ

日曜集會　二十五日

▲臨濟寺微笑會(初音町)午前十時より太希老師の碧巖集例會提唱あり

▲日本基督教會(旭町四丁目)午前九時半より日曜學校同十時半より井口牧師の禮拜説教『理想の教會』あり午後七時半より橋本金太郎氏の傳道説教あり

▲メソヂスト教會(旭町二丁目)午前十時より日曜學校同十二時より●岡牧師の『沈默の價値』午後七時半より同牧師の傳道説教ありと云ふ

▲京城基督教會(南大門内相生町)午前十一時より渡瀨牧師の禮拜説教『新生の秘義』あり夜は教會開催に付き傳道説教を休會すべしと云ふ

演藝だより

▲島田正米講談師となる　一時泥峴街に於ける邦人成功者の一人に數へられたるが三十八年の際所謂病院問題に座し西川氏等と共に退韓處分を受け四十年再び渡來して土木建築請負業を營み傍ら勞働組合を作り其組合長たりしも島田正米なる人感ずる所ありとて講談師となり目下浪花館に興行中の東操に一座して廿六、七、八の三日間合併講演すべしといふ

▲浪花館●島田板山、東操の合併講演の讀物は前講『西鄕再度の旗揚今村光之助』後席が『滿州血染の地圖』板山の讀物は『人生の徑路』とか聞く

▲御成座●歌舞伎座にて開演の筈なりし中村栄一行同座燒失せしより二十三日より御成座に初日を出し好人氣を博し居れりと廿五日の代狂言は『新羽衣』五幕なりと云ふ因に同座は全部修繕を加ね道具類も新調せりと五時開演中錢なし下足共廿五錢均一

▲壽座●中村かしく一行廿五日の狂言は前『關口武勇傳』切『扇屋熊谷』二十六日の前狂言は『義士銘々傳堀部安兵衛』切は喜劇『三人奴』なりと

浮世風呂　（投書歡迎）

▲江戸ッ兒會も會員の隨一人おしづ去り若遊三去つて落鬚の感轉切なる所へ持つて來て更に翡翠の江戸奴もアノ夫れ、エー自劣体のう、左外の官舎へ嫁入つて繼母さんになると云へば一層の寂々で御座り奉る▲改進亭の小富美は先代大切の〳〵の枕から二番目の撥を取落したのは全く以て彼の方一方で世を渡れどのお不動様のお暗示と心得て怨む心は露程もなしと感心したらしい聲が三日月湯の女湯から▲仁川藝妓の米蝶は或る所を負傷に及び仁川の醫者になんか見せるものかと大威張りで當地の本間病院に入院して茲では盛に診て貰つてると此は大和湯の男湯から萬屋と云ふ藝妓置家がある筈と或る人が南部署に問ふたら左様な置家は許可して居らんと云ふて酷く叱られたがなゝシ夫れが廢うだす此所にチンと有るやおまへんか、ヘッ、何んの事ちや譯不明へんと盛んに愚痴る南山湯の男湯▲化粧の仕榮ねのあるは松葉の時松さんと花月の小達磨さん、何時見ても美しうおつすわなアと是は女湯から泌々と感に入つた聲(ヒョット子)

市中の白米相場

▽生活上の大問題

京龍間の諸物價が廉うも斯う均一でない均一であるべき筈の米價でさへ均一でない著しい懸隔があるとの非難を耳にしたので記者が以下の各商店に就て特等米と一等米との石相場を尋ねて試た結果は即ち下の如くである

本町六丁目　藤富國商店

牛乳で知られた藤富さんは雜貨商であるが而して白米も商うと云ふ調法な店、仕入先は仁川精米所で得意先は京城ホテルを筆頭に附近の商家であるとか番頭さんのお話し、夫で特等は二十圓五十錢で一等は二十圓、一斗賣りも同價段でムいますとの事。

壽町二丁目　下村商行

米と酒と醬油とを扱つて居られる、仕入先は京龍間の精米所何所と決まつて居らぬと仰云る、特等は十九圓五十錢一等は十九圓に願つて居ります、一斗賣も同様です。

同町一丁目　待井出張所

古市町に精米所を有する待井三郎氏の其出張所である、特等は十九圓八十錢に一等は十九圓に願つて居ります一斗賣も同様だとの事。

曙町　貞賀商店

米と酒と醬油を表看板、仕入先は京城龍山、仁川に亘つて居ります特等は十九圓二十錢、一等は十八圓七十錢に願つて居ります、一斗賣は三十錢高位に願つて居ります。

吉野町　江藤商會

雜貨商である、仕入先は京龍間の精米所からで特等は十九圓五十錢、次は品切れでムいますとの事。

本町一丁目　今村商店

米專問である、仕入先は平壤、鎭南浦、及び京龍の各所より安くて上等の質を買入れます、特等は十八圓八十錢で一斗賣ひますのは二十錢高で次品は目下品切れです。

龍山元町　日韓組商店

米雜貨商である、仕入先は群山、木浦、京城、龍山等でして特等は十九圓三十錢の次は十九圓ですが目下品切れでムいます、精々勉强致しますから何卒御用命を、とれ世辭が好い。

代表的に聞き得たる所以上の如くなるが最安價のが本町一丁目の今村商店で最高價なのが本町六丁目の藤富國商店で其差實に一圓七十錢、今村さんの話る所に依ると、米質に相違は無い筈ですが喫つて試て下さいとの事であつた

諸公債株券
現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業
諸官衙御用達 既製洋服卸小賣
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店 電話九九三(夕)

胃病にて御注意
猪飼胃散
胃病 飲みすぎ 食ひすぎ には
定價 十二袋廿五錢 五十袋一圓
本舖 大阪江戶堀 猪飼史郎
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

▲月經をつうじ子宮病を全治す
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす
二十世紀の新發明
最良新藥
月經不順
每月丸
價藥 一日八錢半 一週五十錢 二週分壹圓廿五錢 三週分壹圓四十錢
常に月經異動ある人持藥とせば瘀血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良藥也
本舖・大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店
支舖 東京日本橋稻屋町 丹平商會支店
賣捌は東京市內其他各店に取次す
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

綿、吳服界御通信
◎吳服部御紹介
大島式御召新荷着
本場秩父夜具地類品揃
柄行並に品質の撰定は弊店の特色御眺蒲團調進致します
◎綿部御紹介
カード式製綿 吹留、袋具綿全部品揃
滿る月映ぐるの例に洩れず一時高價の綿類も安價となりました
◎地方部御紹介
御注文品は
御來店と同樣御安心遊ばす樣丁寧迅速に御郵送申上ます
京城明治町二丁目
△唐川吳服店 電話二六一番

大坂瓦斯コークス並に器具一式
圖定教科書 文房具販賣
仁川新町二丁目
百崎金港堂 電話五百八番

一、土地建物抵當貸附金、月賦償却建築共尤モ確實便利且ツ迅速ニ取扱可申候ニ付直接御申込可被下候
京城黃金町二十番戶
東京建物株式會社派出所 電話一六八一番

舶來アイボリー石鹼
舶來アイボリー石鹼を被下とい石鹼に差出す僞物澤山あり御用心〳〵
舶來アイボリー石鹼は包紙に斜にアイボリー石鹼の日本文字あり是なきものは僞物なり御用心〳〵

當店發賣の洋酒洋食品は絕對に品質保證致候
弊店にて發行の雜誌「嗜好」御入用の御方は無料にて差上可申候
宮內省御用達
株式會社 明治屋京城支店
電話二一七、二二二番
御用の品は遠近多少に不拘即時御配達致候
故に弊店に御用命被下候へば最も御安心の事に御座候

▲叮嚀▲迅速▼安價に修理可仕候▼
銃砲自轉車修繕
▲英米自轉車中古格安品澤山取揃有之候間御一見の上御買求の程願上候
京城旭町二丁目
瀧川銃砲自轉車修繕部

世界無比
淳良
清酒
○堺大塚の金露酒は今回改良に付て灘釀造酒のみを用ゆる事にせられたり
○大塚釀造場の金露酒は衞生に經濟に嗜好に社會に於ける一大良得品
○京城に於ける金露特約販賣店の元祖は佐藤牧商店なり
○大塚金露酒最近中味改良の結果賣捌高大多數を占めたるは佐藤牧商店なり
○地方御得意樣には中味改良の驗として大割引廉價を以て御注文に應じ可申候
特約大販賣
京城本町二丁目
佐藤牧商店 電話二九番 振替京城二九番

眼科專門
前大韓醫院眼科部長
京城本町六丁目(元軍司令部通り)
金井眼科醫院
電話一五五六番
金井豐七

M.C.C.
土耳古 紙卷 煙草
エムシーシー
專賣局定價は日本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

京城旭町一丁目
齋藤齒術所
電話一四一四番

仁丹
三輪井上兩博士方劑
消化と毒けし
主効 ●食慾不振 ●頭痛目眩 ●時候傷り ●嘔吐下痢 ●船車の暈 ●惡疫豫防
仁丹は此工場に於て嚴正なる監督の下に絕對に精製せらる
故に藥効最も的確なり
即刻御服用あれ
●下圖は仁丹の工場縮圖して彫刻に附せるもの也
凡例
森下製藥場 位置七坂東區 總坪數三千百坪 機關五十馬力
(イ)製藥部 (ロ)機關室 (ハ)倉庫 (ニ)事務所 (ホ)食堂 (ヘ)舍宅 (ト)レー
京城南大門通三丁目 電話九百〇四番 一〇六八番 振替口座京城十六番
代理店 新井藥房

齒科診療
京城本町二丁目三越吳服店前
野田齒科醫院
仁川仲町三丁目末永吳服店隣
野田齒科醫院分院

洋藥 賣藥
京城本町一丁目(郵便局前)
問屋 山岸天佑堂藥房
電話三七二番 振替二〇三番

醫科 理化學 機械
京城本町一丁目(府廳前)
同機械部
電話一〇六番

宅合名會社仁川支店
酒は向上の氣を養ひ
愁の眉を開く
愁ふる人は
二羽鶴を召せ

酒精アルコール
直輸入元
仁川花町一丁目(電話五〇番)(電略サ)振替口座京城五八二
坂倉支店

輕便手濡さず衞生的米洗器
最も德用便利なるテンピ
經濟的有利なる敷島竈
新式流行教育玩具類
智惠比べ秘密貯金箱
堅固美麗なる手提金庫
優美高尚なる傘臺
教育上心要なる礦石標本
仁川新町一丁目西北角
ツ 津田兄弟屋
電話七六二番 振替口座京城三八九番

大聲發音器
日本音譜 朝鮮音譜 各種品揃
音譜目錄無代進呈
地方の御注文は振替口座又は引換
小包にて御送附可仕候
日本蓄音器商會
朝鮮總代理店
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
京城本町
辻屋
電話二四八番 振替口座八七番

優等清酒
釀造販賣元
仁川港
吉金酒店
(電話七六四番)

★株式會社 百三十銀行京城支店
電話百九十四番 振替貯金朝鮮一五一三番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、龜山
東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙臺、北方、加納
北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、今手、太田、倉吉
山陽道 姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高粱、尾の道、福山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、阪出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、西田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養、郡中
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、伯大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、長佐、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎
北海道 小樽、函館、札幌、旭川
臺灣 臺北、臺南
樺太 太泊
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晉州、馬山、州、大邱、羅南、新義州、城津、開城、清州、大田、金泉、公州、水原、全州、安東縣、大連、營口、奉天、旅順
清國
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

宅地 賣物
東四軒町一千百坪 建六十坪
若草町二百二十坪 建四十坪
右御入用の方は京城大和町大和俱樂部へ直接來談あれ

キ 二月中 滊船出帆廣告
安來丸 二月 日前 時
天草丸 二月廿五日前七時
成歡丸 二月 日前 時
海利丸 二月 日前 時
三省丸 二月廿六日前十一時
蘆島行 海州行 屯串行 海州行 大湖芝行
仁川本町四丁目 電話一七三番
合資會社 秋田商會船舶部
仁川本町一丁目 電話七五〇番 荷扱部
秋田商會船舶部
仁川本町海岸通 電話四一九番
荷客取扱所
仁川本町四丁目 柴田回漕店 電話五二二番
山本回漕店